

# 平成 19 年度 事業計画書

## 【事務局】

### ○総務部

#### ①「岩手県理学療法士会」の手引き発行

前年度の事務手続き手引きに加え、士会定款・細則並びに東北ブロック関係規則を掲載

#### ②事務業務オリエンテーション実施

各部局担当者を対象とした事務手続きに関する研修又は手引き書の作成・送付

#### ③各局事務担当者の検討・試行

各局における事務担当者設置を検討。経費・事務手続きの効率化と窓口設置の実験的試行

#### ④新規入会手続きの早期化

本年度実績は入会予定者 40 名に対し上期入会 38 名の 95%。入会案内の早期送付と新人オリエンテーションの実施による入会率 100%を目指す

#### ⑤新人オリエンテーションの開催

昨年度の 5 月士会研修会時開催からの前倒しを検討

#### ⑥進学希望者用パンフレットの作成

中高生を対象とした進学用パンフレットの作成

#### ⑦士会誌からの年報分離

平成 12 年度をもって凍結された年報の士会誌からの分離と関係団体配布  
また、これに伴う各局事業情報の集約

#### ⑧派遣対応者リストの作成

関係団体主催事業・会議への対応可能者リストの作成と活用

#### ⑨士会備品貸与システムの確立

士会が保有する備品リストの作成により会員福利厚生を目的とした貸与システムを確立

#### ⑩会員福利厚生の整理と周知

現在施行されている会員対象福利厚生のリスト化と会員への周知徹底

#### ⑪ブロック制度の体制見直し

学会時以外は形骸化しているブロック制の見直しをはかり、有効な活用法を検討

#### ⑫定期総会出席者拡大

総会出席の重要性並びに士会事業に関する周知・啓蒙に関する方策を検討

#### ⑬士会年間行事スケジュールの広報

#### ⑭会員個人に対する意識調査

#### ○財務部

##### ①会員証普及促進

平成 18 年度 10 月実績は 47%。

更なる普及率の向上を目指し、未手続き会員の発掘と啓蒙

##### ②会費納入率の向上

会員証普及を前提に、未手続き者の会費納入率を向上。未払者への周知

##### ③会員証利用による各種受付業務の機械化検討

長期的な展望に立った磁気カード読み取り機による各種受付業務の簡便化を検討

##### ④事務局移転に伴う什器備品購入費積立

事務局移転時に付帯する什器備品購入に関する積立

#### ○士会ニュース編集部

##### ①士会 HP との連携化

士会 HP 利用による「デジタル版士会ニュース」の検討。ニュース鮮度の維持を目指す

##### ②アナログ版士会ニュース 2 色化検討

年 3 回の発行中 1 回を試験的に 2 色化、会員の反応を調査

##### ③アナログ版士会ニュースの発行

7・10・2月の発行

##### ④寄稿者へのメリット充実

現行の寄稿者謝礼の対象並びに謝礼内容の拡大

##### ⑤士会ニュース寄稿協力体制の充実

各局における寄稿協力体制の検討

ブロック単位での特派員システムの確立

#### ○インターネット管理部

##### ①士会ニュースとの連携化

デジタル版士会ニュースの検討。

##### ②士会 HP の携帯端末対応

士会研修会会場等の携帯端末案内

##### ③パスワード利用による会員専用ページの充実

個人情報に関わる内容等の機密保持

##### ④研修会申込フォームの導入

各局研修会時における HP 申込方式導入によりリスト作成等事務手続きの簡略化をはかる

⑤HP 上会員専用掲示板の設置

掲示板維持の為のシステム検討

⑥会員投稿コンテンツの充実

会員投稿システムの検討と施行

⑦メールマガジンの検討

次年度以降の導入の意義について検討

○その他

①公益法人法改定に伴う対応

平成 20 年に施行される公益法人関連 3 法への情報収集や対応準備

②事務局移転準備

## 【社会局】

○広報部：理学療法週間、介護予防事業

事業内容 1. 施設相談、見学（各会員協力施設）

2. 介護予防事業に関わる広報協力（パンフレットの見直し作成等）

○業務管理部：研修会派遣、研修会開催

研修派遣：管理運営研修会（千葉）

研修会開催：業務管理研修会（10 月中）

○地域支援部（訪問人材育成）：研修会開催

研修会開催：訪問理学療法に関わる研修会（11 月中）

ワークショップ（12 月中）

○協会協力部（協会主催研修会参加）

研修派遣：公益事業リーダー研修会

その他

○健康福祉部（市町村福祉祭り等への参加）

出張相談・介護予防関連事業

（例年：石鳥谷、その他理学療法週間時以外への対応）

○医療保険部・介護保険部

診療報酬改定に伴う現状調査

会員質問対応は常時実施

○研修資料部（各部事業資料収集、学術誌投稿）

## 介護予防事業計画

### 介護予防キャラバン

- ・盛岡市への対応は常時（1ヶ月前までの申し込みとする）  
年間5地区程度を目標
- ・その他市町村への対応は各ブロック1地区  
計3地区程度を目標

### 高齢者運動教室

- ・第1クール4月中スタート12～16週毎週土曜日  
盛岡市内
- ・第2クール8月中スタート12～16週毎週土曜日  
盛岡市以外の地区

### 介護予防認定士の育成

協会主催研修会への派遣8月東京地区へ2～4名を予定

### 介護予防事業リーダーおよびスタッフ育成研修会の開催

年1回、開催地区は高齢者運動教室を開催する盛岡市以外の地区

## 【学術局】

- 1 人材育成システムの強化
- 2 「臨床技術の向上」「研究活動の推進」を目的とした専門領域研究部研修会、岩手県学術集会の企画・運営
- 3 生涯学習プログラム推進のためのシステム構築
- 4 研究活動推進のための支援体制の多様化

### ○専門領域研究部

従来通り、士会員の「臨床技術の向上」と「研究活動の推進」を目的に、運営部員を中心とした活動を行う。

- 19年度の専門領域研究部のテーマを「Outcome Measure」とする。
- 上記テーマに基づいた具体的な活動内容を今後検討し、3月の総会には日程と内容を提示できるように進める。また、研究開発部、研修部と連携し、研究活動および岩手学会についても、上記テーマにリンクした企画を行う予定。
- 年2回の研修会については、従来通り5月と3月に予定。（19年5月：教育管理系、20年3月：生活支援系）

### ○研修部

## 第10回 岩手県理学療法士学術集会の開催

開催地：奥州市 （第2候補：アイーナ）

日時：平成19年8月25日、26日 その他の詳細は今後検討

各研修会における準備運営のサポート

### ○生涯学習部

新人教育プログラム集中研修

Part1：6月2日、3日（岩手リハビリテーション学院）

Part2：9月29日、9月30日（県立磐井病院）

生涯学習の広報活動の強化

士会研修会以外の研修会・学術集会の単位認定の検討と実施。

### ○研究開発部

- 研究活動の支援として、希望される施設へ訪問し研究方法等の勉強会を開催する。
- 「演題助成」と「論文助成」の2つの助成金を設ける。
  
- 各専門領域研究部会が行う研究活動に対する支援を行う。

### ○学術誌部

士会誌との分離を図り、図書登録を目指した学術誌の刊行を目標に、その内容について検討していく。

### ○学術資料部

DVD ライブラリの運営・管理

学術資料の有効活用及びライブラリの拡充。

申請方法やライブラリの提示に県士会ホームページを活用する。

学術活動データベースの運営・管理

データベースの拡充を通して県士会会員における学術活動の情報を集約し、人材育成システムの機能化を目指す。

県士会ホームページを活用した登録システムの確立を図る。